

千鳥の杜学園

松江一中だより

第7号 令和7年2月27日(木)発行

校長：神谷 祥久

「行動の一枚岩」～ スリンプル・プログラム研修会

R7.2.10

今年度から「こころ♡ほっとタイム」(週1回10分)で取り組んでいる「スリンプル(スリム&シンプル)・プログラム」の研修会を実施しました。このプログラムは、4つのルールをもとに4つのエクササイズを通して「人と関わる力」を育て、自尊感情を高めることを目的として行っています。この日は、先日からの大雪で交通機関も麻痺する中ではありましたが、本プログラムの考案者である曾山和彦先生に岐阜県からご来校いただき、全クラスでの取組状況を確認しながら次年度に向けてのアドバイスをいただきました。

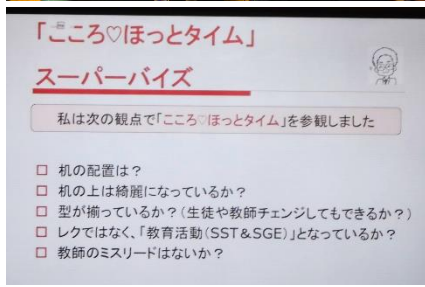
4つの ルール	○あいさつ
	○うなずき
	○相手を見て話す
	○指示を聴く

4つの エクササイズ	○質問ジャンケン
	○アドジャン
	○二者択一
	○いいとこ四面鏡

このプログラムを効果あるものとするためには、長く続けること。そのためには誰もが同じ型を大切にし、なぜそのエクササイズを行うのかといった意義を共有することの大切さを学ぶことができました。一見するとゲームのような感じがしますが、教員・生徒が一人ひとりの考えを聴く姿勢をもち、認め合う姿勢をもって話し合えることは、学習時のグループ学習・意見交換時に大きな意味をもつものであり、落ち着いた学習環境、学力向上に大きく関わるものと考えています。

なかでも、先生にお話しいただいた「思考の一枚岩は難しいけれど、行動の一枚岩はプロならできる!」というお言葉が深く心に響きましたし、ぜひともそんな教職員集団を構築せねばと思ったところでした。

一中校区の小学校からも研修にご参加いただき、ありがとうございました。小中9年間の連続性と継続性をもって取り組めると大きな成果も上がると思います。



学校評価 ご協力いただきありがとうございました!

2月14日(金)第3回の学校運営協議会を開催し、委員の皆様には本年度の学校評価を見ていただき、学校経営についてご意見をいただきました。保護者の皆様におかれましても、昨年の12月にはアンケートにご回答いただき大変お世話になりました。実に810件中584件のご家庭からご回答いただきました。次ページから、項目別の数値等を掲載しておりますので、ご確認ください。

いただきましたご意見は、次年度からの学校経営に活かしてまいります。

令和6年度 学校評価

A:85%以上 B:70%～85% C:70%未満

【学力の育成】	評 価 項 目	生徒	保護者	教職員	関係者
①基礎学力の定着と学び方の習得	生徒（あなた）は、学校での教科の学習に、意欲的かつ継続的に取り組めましたか。	A 87	C 62	B 84	A
	先生たちは、熱意をもって学習指導をしていますか。	A 88	B 80	A 98	
②学ぶ楽しさ、追究する楽しさを感じる「わかる授業」の展開	生徒（あなた）は、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。	A 90	B 80	B 83	A
	先生たちは、電子黒板などのICT機器や学校図書館を活用したわかりやすい授業づくりをしていますか。	A 87	B 84	A 98	
③将来への希望をもち、主体的な進路選択ができる力の育成	生徒（あなた）は、授業で扱う内容だけでなく、様々な事柄について興味や関心を抱き、もっと深く知りたい調べたいと思い、自ら考えたり学んだりしましたか。	C 68	C 47	C 47	B

【社会力の育成】	評 価 項 目	生徒	保護者	教職員	関係者
①社会とのつながりの中で知る自分らしさや多様性への理解の推進	生徒（あなた）は、多様な価値観を認め、豊かな人間関係を築くことができましたか。	A 92	A 87	C 66	A
②自然・文化・伝統・産業や地域の人のよさを感じる心の育成	生徒（あなた）は、学校生活をとおして、将来的に社会に貢献する力を身につけつつあると思いますか。	A 87	B 74	C 57	B
③健康で安全な生活と基本的生活習慣の確立	生徒（あなた）は、学校や社会のルールを守ることができましたか。	A 92	A 88	C 20	B
	生徒（あなた）は、社会人として期待されるあいさつ、言葉づかいなどのふるまいを、あたりまえの習慣として行うことができていますか。	A 86	B 79	C 20	

【人間力の育成】	評 価 項 目	生徒	保護者	教職員	関係者
①所属感、自己有用感、自己肯定感の醸成を図る場の工夫	生徒（あなた）は、学校での教科の学習以外の活動に積極的に取り組みましたか。（学校行事〔体育祭、合唱コンクールなど〕、生徒会活動、部活動、弁論大会、清掃、ボランティア活動など）	A 93	A 88	A 93	A
②生徒の人権意識の高揚と相手を意識した、助け合い・認め合い・支え合う人間関係づくり	生徒（あなた）は、他人を思いやる心を持って人に接することができましたか。	A 96	A 92	C 64	A
	生徒（あなた）は、他人との関係や集団生活をうまくやっていくことができましたか。	A 91	A 88	B 73	
③生徒理解の深化といじめ問題の根	本校は、悩み事や心配事を相談しやすいですか。	C 63	B 71	B 83	B
	本校は、人権が保障され安心して生活できる学校ですか。	B 80	B 79	B 74	

【保護者・地域との連携】	評 価 項 目	生徒	保護者	教職員	関係者
	本校は、学校・学年・学級だよりやホームページ、掲示板などを通して、保護者や生徒に学校の様子を積極的に知らせていますか。	A 86	A 87	A 100	A

学校運営協議会でご意見の一部をまとめましたので、ご覧いただきますようお願いします。

全体として求める力（学力・社会力・人間力）において、改善すべき点が明確になっていることから、その点をしっかりと改善してほしい旨の評価をいただきました。また、生徒評価と教職員評価の大きな隔たりは、各評価に係る基準に隔たりがあるのではというご意見もいただきました。どのような状態が「十分満足」といえるのか、具体性をもって評価できるよう検討してまいります。

【学力の育成について】

「基礎学力の定着と学び方の習得」という点においては、各家庭での学習に対する取組状況による差が出ているのではないかという意見をいただきました。教職員・保護者の求める学習状況と生徒の考える学習状況の差によるものと考えます。あわせて、「将来への希望をもち、主体的な進路選択ができる力の育成」という点においても、授業での学習を基礎とし、生徒自らが調べたりまとめたりするといった探究的な姿勢・学習意欲の不足が考えられます。家庭学習を見通した授業の展開、学校で学んだことが社会とつながっていることを意識できる授業展開について、考えていきます。また、今年の公立高校の入学選抜から受検のシステムが大きく変更されています。生徒一人ひとりが中学校卒業後、何を学びたいのかが明確となるよう働きかけてまいります。ご家庭におかれましても、話題にさせていただきますと幸いです。

【社会力の育成について】

「健康で安全な生活と基本的生活習慣の確立」という点において、教職員の評価が生徒・保護者の皆様の評価と大きく異なる状況となりました。教職員が、学校は社会を知る場であり、練習する場であるという考えをもち、求める姿が高すぎるという点もあるのではという意見もありました。義務教育は社会に出るための力を育成する場であると考え、一定の規範意識の醸成は図ってまいりたいと考えます。ご家庭におきましても、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【人間力の育成について】

「生徒理解の深化といじめ問題の根絶」という点において、「悩み事や心配事を相談しやすいか」という質問について生徒評価が「C」であることは改善すべき大きな課題であると考えています。これまで以上に教育相談の場の充実を図るとともに、生徒と教職員の「普段の雑談」を大切に100%をめざしてまいります。今年度からスタートした「スリンプル・プログラム」の充実を図り、「認め合い、高め合える集団」、「許すことのできる人間関係づくり」を進めていきます。

保護者の皆様からの自由記述について

複数の保護者の皆さまから本校の教育活動について、貴重なご意見をいただきました。温かい感謝のお言葉もいただいておりますが、真摯に受け止め解決を図るべき内容もありました。今後改善を図ってまいります。

○部活動について

部活動の運営姿勢について様々なご意見をいただきました。強い部活動を求めるのか、楽しい部活動を求めるのか、様々な考えがあると思っています。生徒一人ひとりが3年間、必死にがんばったといえる部活動にしたいと思います。生徒の意見を大切にしながら運営をしてまいります。また、指導者の言葉の使い方等に問題があるのご意見もいただきました。お詫び申し上げます。全国的に「地域移行」という流れがありますが、地方においては専門的指導者の圧倒的な不足という難しい状況もあります。最大限に専門性を有する指導者の確保、平日も含めた時間的な課題、資金的な課題もクリアできる指導者の確保に引き続き尽力してまいります。

○学校からの文書のペーパーレス化について

今年の1月からメールシステムが変更となり、文書の電子送達が簡素化しました。文書の内容により、紙媒体と電子媒体を使い分けてまいります。現時点においては、生徒の皆さんにも目を通してほしい文書、ご家庭で話題にしていきたい文書については、紙媒体でのお届けを考えております。

生徒会より

【新生徒会情報】

生徒会長他の役員が2年生にバトンタッチされ、新生徒会がスタートしました。

スローガンは「花束 ～仲間の個性を大切に みんなで振り返こう～」です。一人ひとりが認め合い、みんなで協力して想いを達成できるそんな生徒会にしていきたいと思います。

《役員紹介》

			委員長	副委員長
生徒会長	奥原さん		総務委員会 藤田さん	大房さん
副会長	矢野さん	陰山さん	報道委員会 高橋さん	益田さん
議長	澤田さん	森さん	保健委員会 仲村さん	園山さん
書記	藤井さん	辰己さん	給食委員会 宮内さん	山本さん
会計	鈴木さん	原田さん	体育委員会 森田さん	大石さん
			図書委員会 高橋さん	山本さん
			美化委員会 大場さん	若槻さん
			生活委員会 伊藤さん	松田さん



学習成果の発表

【ゆうあい作品展】

*県立美術館にて

この作品展は、市内の小・中学校等の特別支援学級、特別支援幼児教室、そして特別支援学校で学ぶ幼児・児童・生徒の日頃の学習の成果を発表する場として開催されており、今年度で19回となりました。



【市技術・家庭科作品展】

*STICにて

この作品展は、毎年、市内の中学校や義務教育学校後期課程の生徒が技術・家庭科の学習成果を発表する場として開催されており、今年度で54回となりました。



3学期も残りわずかとなりました。昔から「1月は行く 2月は逃げる 3月は去る」といわれますが、月日の移り変わりを早く感じます。時に流されることなく、しっかりと取り組んでまいります。